

An architectural rendering showing a perspective view of the Takatsuka Bridge. The bridge spans a wide river. On the left side of the bridge, there is a dedicated pedestrian path with a red surface and a metal railing. The right side of the bridge features a multi-lane road with cars and a dedicated bicycle lane. The riverbanks are landscaped with green grass and trees. The sky is clear and blue.

# 宝塚大橋の歩道空間整備計画

兵庫県阪神北県民局宝塚土木事務所

宝塚市

令和5年2月

コンセプト：「景観を楽しみ、使い育てる橋」

「景観形成と通行安全の確保」

- ・上流側は滞留空間を重視
- ・下流側は通行空間を重視

「地域の意見を踏まえた整備」

- ・宝塚景観審議会による有識者との意見交換
- ・アンケート調査による意見聴取（12/27～1/17 実施：約 1,900 件回答）
- ・意見交換会による意見聴取（5/29 開催予定）

「パートナーシップによる景観の保全・育成」

- ・地域、宝塚歌劇、手塚治虫記念館、植木産業等との協働の取組を協議、検討

整備方針

1. にぎわいを育む橋

- ・南口駅から劇場方面に導くしくみ
- ・橋詰部に多機能広場環境を整備
- ・観光プロムナード全体の調和をはかる整備

2. 立ち寄りたくなる橋

- ・宝塚の風景に調和した歩道空間
- ・宝塚の代表的景観を演出する歩道空間
- ・橋上からまわりの風景が楽しめる歩道空間
- ・安らぎを感じる「みどり」のある歩道空間

3. 利用者が安心して  
通行できる橋

- ・今の利用状況に対応した通行安全性確保
- ・災害時にも頼れる安全な道路機能の確保

4. 長く使い続けること  
ができる橋

- ・老朽化に対応したメンテナンスの実施
- ・維持管理を考慮した施設の採用と配置
- ・SDGs の推進

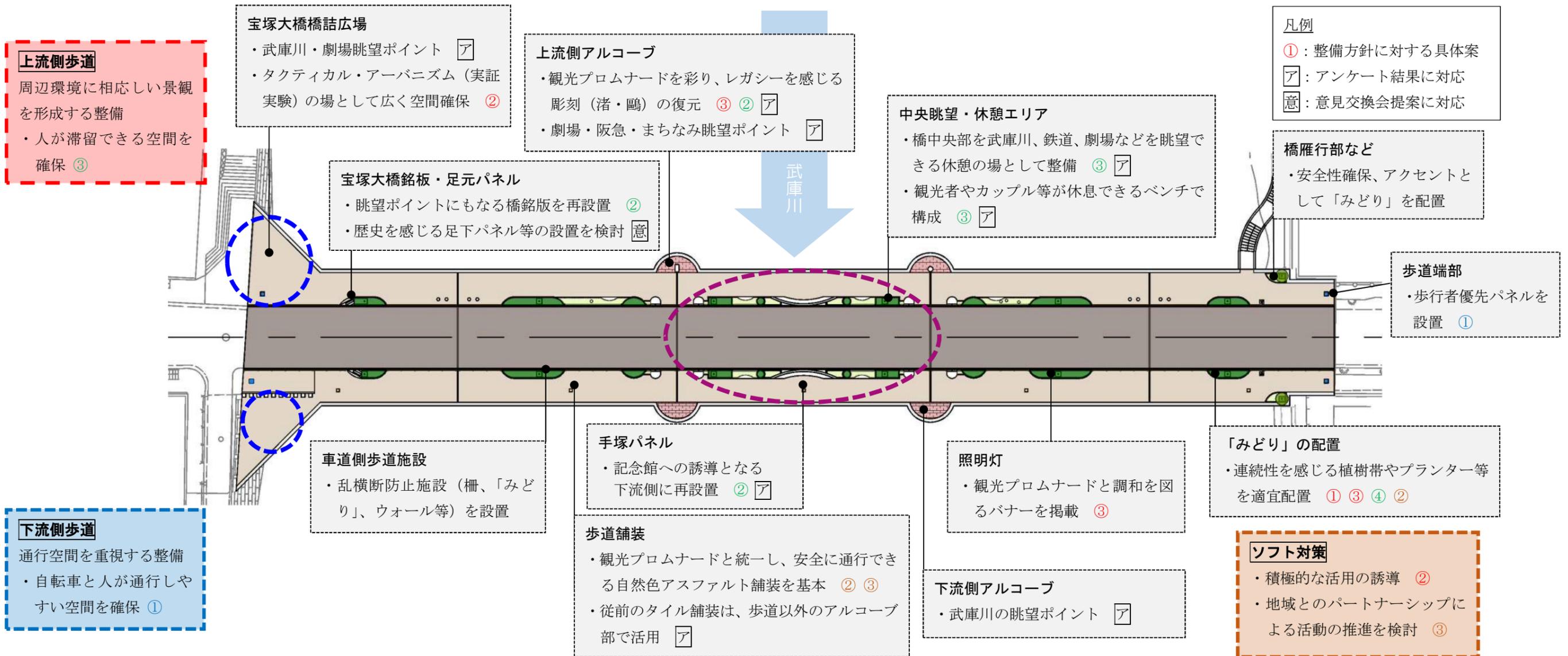
具体策

- ①連続性を感じる橋上緑地帯等の整備
- ②タクティカル・アーバンズム（実証実験）の場としての空間確保
- ③「みどり」・彫刻・バナー等による調和

- ①風景になじむ色彩による調和
- ②彫刻「渚」、「鷗」や手塚パネル等の再設置等
- ③眺望を楽しみ、休憩談笑できるベンチ等の設置
- ④維持管理を考慮した「みどり」の配置

- ①周辺利用者の増加を考慮した歩道幅の確保等
- ②橋梁の補修による長寿命化と耐震化

- ①橋梁の維持修繕と点検の実施
- ②修繕しやすい舗装材や維持管理を考慮した「みどり」の活用
- ③歩道の拡幅による交通の安全性改善、災害に対する強靱さの向上、地域とのパートナーシップによる活動の推進



＜上流側＞滞留空間を重視

(宝塚大劇場や阪急電車など周辺の景観を鑑賞するために滞留できる空間を確保)



橋詰め広場

・タクティカル・アーバニズムの場の創出

舗装

・「観光プロムナード」の歩道と同一の洗出し舗装



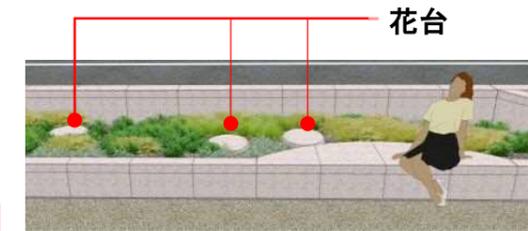
彫刻「渚」



彫刻「鷗」



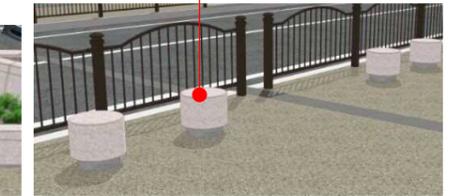
センターウォール  
・眺望エリアの創出



花台・ベンチ

・植栽帯と連続し、曲線を活用  
・タクティカル・アーバニズムの場の創出

花台利用が可能なスツール



スツール

通行幅 3.5m

通行幅 3.5m

右岸

左岸

5.0m

手塚パネル



手塚パネル



手塚パネル



手塚パネル



照明灯



手塚パネル



歩行者優先パネル

・自転車の走行マナー啓発のため、橋面に設置



植栽帯、ツリーシリンダー

・カラーリーフや常緑樹種を配置  
・曲線を活用し色調は周辺施設にあわせる



アルコーブ部(レンガタイル舗装)

・武庫川を見渡せる眺望スポットの創出



＜下流側＞通行空間を重視

(歩行者、自転車の通行量が多いため、通行の安全を確保)

凡 例	
	自然石舗装
	レンガタイル舗装
	照明灯(既設)
	中木
	低木
	地被等

